

資料4 新たな市民参加手続の手法

平成25年度は、行政活動への市民参加をより推進するために新たな手法による取り組みを行っています。ひとつは、地区会館の廃止に関して会館を利用する地区住民を戸別訪問し、廃止の是非及び廃止した場合の影響等について意見聴取しました。

また、もうひとつは、年齢や性別が異なる市民の多くから意見を聴くため、第5期石狩市総合計区の策定過程において、「プランクスツェレ」の手法を用いた市民討議会を開催しました。

■安瀬（やそすけ）会館の廃止について

【市民参加の手法】 戸別訪問による意見聴取

【担当課】 市民生活課

【対象者】 安瀬会館を利用する地区の住民6世帯10人

【市民参加手続の実施経緯】

安瀬会館は、平成6年に開館し地域の活動の場として利用されていたが、地域住民の高齢化や減少などにより施設の利用回数は激減していた。このような状況から、施設を管理する町内会と協議を行い平成25年度より休館としていた。今後においても利用状況の改善は見込まれないことから、会館の用途廃止について方針決定したことから市民参加手続を実施

【手法の採用理由】

今回の市民参加手続は、施設の利用者が限定されることや対象世帯が少数であることから、直接、職員が出向いて市の方針案について説明を行ったうえで、賛否や意見を聴くことが効率的かつ効果的と判断し、個別訪問による意見聴取を採用

【意見聴取の結果と市の判断】

全戸から聞き取りを行ったところ、廃止した場合でも住民及び地域の活動に特段の支障はないとの意見であったことから、平成25年度を以て廃止することを決定した。

■いしかりまちづくりディスカッション2013

【市民参加の手法】 市民討議会（プランクスツェレ）

【主催者】 石狩青年会議所と石狩市（企画経済部企画課）の主催（協働事業提案制度）

【プランクスツェレ】

プランクスツェレは、ドイツで広く実施されている市民参加の手法で、参加者は無作為に抽出した住民等で、参加した場合は報酬が支払われる。参加人数は25名程度を基本に討議は5名程度の少人数に分かれて行う。テーマ等が変わるたびにメンバーチェンジを行い、最終的には「市民答申」という形で意見をまとめ、会議の主催者に提出する。

【討議会の目的】

まちの将来像についてより多くの市民が地域の公共に携わっていく新たな仕組みづくりの試行と総合計画の策定における市民意見やアイデアの活用。

【開催日・テーマ】

①平成25年9月15日（日）9：00～17：40

- ・「子どもたちの育ちのために」
- ・「住みたいまち、住み続けたいまち」

②平成25年10月6日（日）9：00～17：00

- ・「石狩流・コミュニティビジネスとは」
- ・「子どもに伝える、石狩の心」
- ・「石狩の冬を快適に過ごすために」

【参加者】 無作為抽出した市民

【参加者の抽出方法】

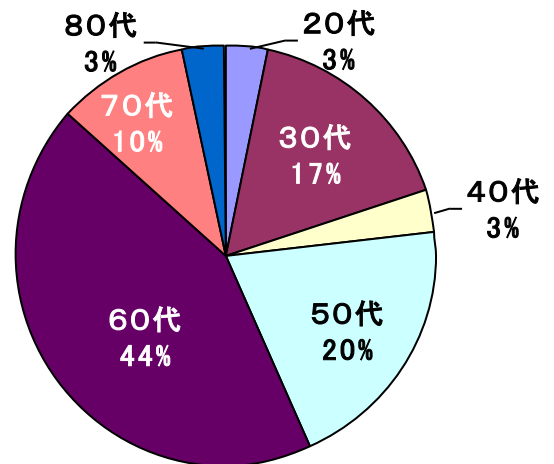
住民基本台帳に登録されている市民のうち、20歳以上の市民1,000人を抽出し、文書を送付した。このうち両日とも参加した市民は30名。

【参加者の報酬】

両方の討議会に参加した市民には報酬として5,000円を支給

【参加者の構成】

年代	男性	女性	計	構成比
20代	1	0	1	3%
30代	4	1	5	17%
40代	0	1	1	3%
50代	2	4	6	20%
60代	7	6	13	44%
70代	2	1	3	10%
80代	1	0	1	3%
合計	17	13	30	100%
構成比	57%	43%	100%	



【意見の取扱い】

市民討議会で出された意見やこの取り組みに対するアンケートの結果等については、平成25年12月に石狩青年会議所において実施報告書として取りまとめられ、市長に提出された。また、討議会で出された意見は、第5次石狩市総合計画や今後のまちづくりに活かされる予定。